

住民参加型行政の課題』セミナー第2回の開催

講義

講師：四日市大学 総合政策学部 教授 松井 真理子氏

とき：2006年9月5日(火)午後1時30分～午後4時15分

ところ：(財)三重地方自治労働文化センター2F 自治研修室



住民参加型行政の一手法としてのNPO活動。NPO活動をとりまく諸課題及び状況の整理。

現実の取り組み方についての具体の課題提起・方向性等の検証・検討等。

セミナー第2回。座長三重大学人文学部 教授 児玉 克哉氏コーディネートにより四日市大学総合政策学部 教授 松井 真理子氏による「NPO活動を生かした「まちづくり」と題した講義形式でのセミナーを行いました。

実際にNPO法人 市民社会研究所 (<http://www.geocities.jp/ssk21ww/>) の代表理事としても活動されているご体験などから、冒頭に基礎「NPOとは」として重要なファクターは、公益性 非営利性 非政府性 自発性 組織性を定義・説明いただき、NPO法人の活動種類、全国の状況、県内の認証等の状況も例示いただきました。

また次に「NPOの機能」として、公共サービス提供機能 イノベーション機能 アドボカシー・社会変革機能 社会の多元性表現機能 コミュニティ建設・民主化機能の定義・説明をいただきました。

しかし、現状としてNPOを取り巻く諸課題は非常に多く、資金と人材の不足、不安定性

等…存在、これらの改善策としての中間支援機能の必要性等を踏まえ、NPOの新しい動きの紹介等についてもお話をいただきました

セミナー後半は、セミナー参加者との意見交換も活発に行われ、セミナーの盛り上がり、関心の高さが伺えました。

松井教授 講義資料の一部

<http://www.geocities.jp/yokkaichinpo/>

<http://www.geocities.jp/yokkaichinpo/shiminkyodokenkyukai-5shiryo.pdf>

次回第3回は、10月18日(水)開催予定で、今回のセミナー座長三重大学人文学部児玉教授をはじめ、コミュニティ・シンクタンク「評価みえ」理事・事務局長 亀山 裕美子氏及び地域開発研究機構 シニアコンサルタント 田中 愛氏を講師(ファシリテーター)にお迎えし、「住民参加型社会の課題と手法」と題して参加型セミナー(ワークショップ形式)を行います。